

平成31年4月5日

報道機関 各位

富山大学人文学部第8回言語学・日本語学公開講演会

こんなにも面白い日本語の見方があったか！

—デキゴトの叙述、モノの叙述—

富山大学人文学部では、第8回言語学・日本語学公開講演会を開催します。今回は、現代日本語文法研究を牽引する存在である益岡隆志先生（関西外国語大学）のご講演です。益岡先生の研究の大きな業績の一つである日本語の叙述類型についてのお話しが中心となります。

従来の日本語研究ではもっぱら「子供がにっこりわらって手を振った」のようなデキゴトを叙述する文が研究対象でした。これに対して、益岡先生は「富山はいいところだ」のようなモノの属性を叙述する文が日本語の叙述のもうひとつの柱をなしていることを看破し、この二つの叙述タイプの相互関係について、非常に精緻な研究を進めてこられました。その成果は、世界各地の言語の叙述類型研究の扉を大きく開くきっかけともなっています。

今回は、このテーマを中心に、まさに「こんなにも面白い日本語の見方があったか！」と膝を叩きたくなるようなお話が聞けるものと思います。詳細については、別添チラシをご参照ください。

本講演会は、一般の方や学生の聴講も可能です（事前申込不要・無料）。

当日の取材・報道方、よろしくお取り計らい願います。

【本件に関する問い合わせ先】

富山大学 人文学部言語学コース
呉人 恵

TEL. 076-445-6196

kurebito@hmt.u-toyama.ac.jp

世界にひらかれた日本語学の叡智

◆こんなにも面白い日本語の見方があったか！◆

デキゴトの叙述、 モノの叙述

2019

4月20日(土) 13:30-15:30

富山大学人文学部1階・大会議室

【講師】

益岡隆志教授

(関西外国語大学教授・神戸市外国語大学名誉教授)



専門：言語学、日本語文法論

略歴：1950年、岡山市生まれ。1976年、大阪外国語大学大学院修士課程修了。神戸市外国語大学名誉教授。現在、関西外国語大学教授

主著：『命題の文法』(1987)、『複文』(1997)、『日本語モダリティ探究』(2007)、『日本語構文意味論』(2013)、いずれも、くろしお出版。

【講演内容】

言語表現の基本は、「子供がにっこり笑った」のように出来事を叙述することと、「日本は島国だ」のように対象の特徴を叙述することである。これらの表現タイプを「事象叙述」・「属性叙述」と呼ぶ。本講演では、日本語を対象に事象叙述の表現と属性叙述の表現がどのように異なり、また、両者のあいだにどのような関係が見られるのかをめぐって考察する。

学内・学外を問わず、参加自由・無料

問い合わせ先◆呉人 恵 (富山大学人文学部言語学コース)

TEL 076-445-6169/FAX 076-445-6141

kurebito@hmt.u-toyama.ac.jp